

療育支援データ活用DX基盤構築事業

事業者名:株式会社ラピラス(那覇市／児童福祉業)

総事業費:6,314,000円(税込み)

1. 事業内容

(1)概要

①事業目的

紙・Excel・複数システムに分散する療育支援記録をDXにより一元管理・蓄積・分析し、職員が子どもや保護者と向き合う時間を創出するとともに、療育データを活用した支援の質の向上、関係機関との情報共有及び障がい福祉分野におけるDXの推進を図る。

②事業概要

音声入力・OCRで記録をテキスト化し、**kintoneへ集約**。
生成AIが支援内容を整理・要約して記録案を作成し、保護者・学校・相談支援事業所等への**帳票を出力**。
記録→蓄積→分析→共有をクラウド上でつなぐ。

③連携ITベンダー

株式会社システック沖縄

(2)見込まれる効果

〈定量効果〉

記録・報告業務を**年間約2,100時間／事業所削減**。
生産性向上等により**年間約1,500万円／事業所の経営効果**を見込む。

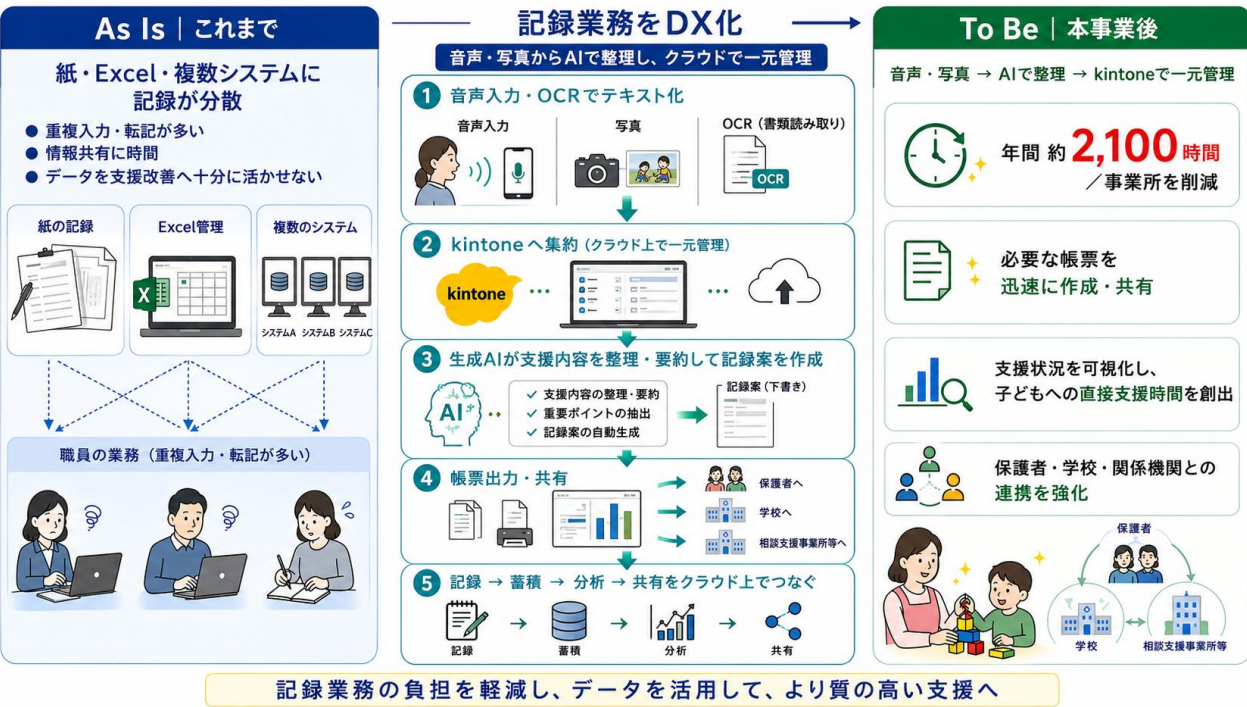
〈定性効果〉

支援状況を可視化し、**情報共有の迅速化・支援品質向上・職員負担軽減**へ。

(3)本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

今後3年間で、音声入力・AIによる支援記録の利用率100%を達成し、療育データを資産として**継続的に蓄積・分析・活用するデータ活用基盤を確立**する。さらに、**保育所等訪問支援及び相談支援とのデータ連携**を推進するとともに、保護者・学校・関係機関との円滑な情報共有を実現するDX基盤へ発展させ、**療育の質の向上と地域全体の支援体制の高度化**を目指す。

2. 事業効果イメージ



3. 将来像

本事業で構築するDX基盤を中核として、保護者・学校・医療機関・相談支援事業所等とのデータ連携を段階的に推進する。将来的には、蓄積した療育データとAIを活用した質の高い療育支援を実現するとともに、**地域全体で子どもの成長を支える持続可能な「地域連携型療育DXモデル」**を確立する。